文スポ・土木・警察常任委員会　県内行政調査

１　調 査 日　　令和６年７月25日（木）

２　調査の概要

（１）滋賀県警察本部（大津市におの浜）

近年、インターネットを悪用したサイバー犯罪が深刻化し、企業・個人を問わず、誰もが個人情報の漏洩をはじめとした被害やトラブル等に見舞われる可能性が増加している。また、企業に対するサイバー攻撃の目的も、機密情報の不正窃取や身代金の要求、データの破壊、サービスの一時停止による売り上げ被害など多岐にわたる。

滋賀県警察本部サイバー犯罪対策課では、多様化、巧妙化するサイバー犯罪等への対応に必要不可欠な通信機器の解析等を行うとともに、企業・個人の被害を未然に防止するための情報発信やシンポジウムの開催等を行っている。

本委員会では、犯罪の発生を抑止する社会づくりを重点審議事項の一つに掲げていることから、サイバー犯罪対策や通信機器の解析業務の現状について調査を行った。

（２）国道477号線道路拡幅工事現場（真野工区）（大津市真野）

国道161号線道路拡幅工事現場（仰木雄琴工区）（大津市仰木）

国道477号線では、琵琶湖大橋から国道161号線をつなぐ区間において、物流を担うトラックや帰宅する車などで、特に平日の夕方の時間帯に渋滞が発生していた。地元から渋滞緩和の要望が出されたこと等を受け、滋賀県道路公社が令和５年５月から工事に着工し、片側２車線ずつの４車線に拡幅したほか、事故防止のため中央分離帯を設け、本年４月26日から供用開始された。

また、国道161号線（湖西道路）では、坂本ＩＣから真野ＩＣまでの 6.6 kmの区間において、平成27年度から４車線化事業に着手され、現在も工事が進められている。当該区間では、車線減少や合流地点での速度低下による渋滞が慢性化するとともに、渋滞が原因と考えられる追突事故が約９割を占めていることから、４車線化による渋滞の解消や交通安全の確保が期待されている。

本委員会では、社会インフラの整備を重点審議事項の一つに掲げていることから、当該現場を訪れ、工事の進捗状況について調査を行った。

（３）比叡山延暦寺根本中堂・国宝殿（大津市坂本本町）

延暦寺根本中堂では、平成28年度から約10年をかけて、本堂の銅板葺き、廻廊のとち葺きを葺き直し、全体の塗装彩色の修理を行うなど、大改修が行われている。７月６日夜に火災が発生したことで、改めて現場での作業内容、工程、資材等の管理方法の確認など、安全管理の取組が進められているところである。

また、延暦寺国宝殿は、伝教大師最澄の御真筆をはじめ、仏像、仏画、書跡などを管理保管するとともに、多くの参拝者に比叡山の歴史を理解してもらうことを目的に、平成４年（1992年）に開館した。１階と２階にある展示室では、国宝・重要文化財を含む寺宝数百点の中から選び抜いたものを適宜入れ替えながら展示している。また、仏教関連資料の調査・研究施設でもある。

本県では、令和９年12月に新しい琵琶湖文化館の開館を目指しており、今後の委員会審議の参考とするため、根本中堂廻廊等保存・修繕工事現場を視察するとともに、延暦寺国宝殿所属の学芸員の皆さんとの県民参画委員会を開催し、文化財の展示の工夫および文化財を駆使した誘客ついて、意見交換を行った。